

6 研究奨励（※は研究代表者）

〔優秀賞〕

単元の接続を意識し、深く思考する理科学習

～6年・「生き物と環境」の実践から～

かほく市立宇ノ気小学校教諭 小松 武史* 白山市立蝶屋小学校教諭 福嶋 康晴

〔優良賞〕

子どもが創る理科

～主体的・協働的に追究する子をめざして～

金沢市立額小学校教諭 谷口 真由* 金沢市立泉野小学校教諭 室木 千恵子
金沢市立栗崎小学校教諭 服部 綾子

子どもが創る理科

～友達と協力しながら解決したいと動き出す子を目指して～

金沢市立新神田小学校教諭 中田 理恵* 白山市立千代野小学校教諭 竹本 優紀
金沢市立明成小学校教諭 吉川 恭子

「科学的な思考・表現」の土台となる「科学的な知識」の定着を目指した活動

～「ペア音声練習」を活用した取り組み～

小松市立松陽中学校教諭 盛田 義弥

21世紀型学力の育成を目指して

～教科（科目）横断型授業の挑戦～

石川県立小松明峰高等学校教諭 井川 健太

〔佳良賞〕

理科における全員参加型の授業の確立のための研究

金沢市立大野町小学校教諭 永井 重輝* 金沢市立兼六小学校教諭 筒井 邦治
金沢市立明成小学校教諭 大井山 武 金沢市立明成小学校教諭 宮腰 拓
金沢市立長坂台小学校教諭 虎本 晃一 金沢市立鞍月小学校教諭 横川 竜也

珠洲焼の研究

金沢学院高等学校講師 高木 義雄

ウェブマシンの作成と授業展開

金沢学院高等学校講師 村澤 晃一

平成28年度

第54回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成29年2月15日(水)
13:30～14:30

式場 石川県教育センター大研修室

式次第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
- 4 表彰状授与及び奨励金交付
研究奨励
- 5 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 田 中 新太郎
- 7 受賞者代表謝辞
- 8 閉式のことば

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立兼六小学校　　教諭　**筒井 邦治**

鹿西町立能登部小学校を初任に，金沢市立森山町小学校，同木曳野小学校，金沢市キゴ山天体観察センター主任主事，金沢市立味噌蔵町小学校を経て現在に至る。研究面では，越馬徳治科学教育研究奨励での受賞がある。指導面では，金沢市教育委員会主催理科実技研修講師，金沢市児童科学教室指導員，金沢市少年少女発明クラブ指導員，キゴ山天体観察センター主催事業「宇宙塾」指導員を務めるとともに，所属校の理科担当者として科学作品コンクールの指導にも熱心に取り組んだ。また，「理科の学習」編集担当者，石川県科学教育振興会幹事，金沢市宇宙少年団事務局，金沢市小学校教育研究会理科部会運営委員を務めるなど，理科教育の振興に貢献している。

金沢市立長田中学校　　教諭　**原 宏史**

金沢市立西南部中学校を初任に，現在に至る。研究面では，越馬徳治科学教育研究奨励での実践発表があり，さらには全国中学校理科教育研究会でグループ発表も行っている。また，石川県理科教育研究大会の粒子分科会において，探究心を育む観察・実験の工夫について発表した実績がある。指導面では，所属校の理科部顧問として，科学作品コンクールの出品啓発と指導に当たるとともに，理科担当として，高峰賞応募生徒に対して研究指導を行った。その結果，高峰賞個人賞（平成21, 22年度），高峰奨励賞（平成22年度）へと導いた。また，金沢市教職員研修の講師を務めるなど，理科教育の振興に貢献している。

石川県立羽咋高等学校　　教諭　**岡野 清**

石川県立小松高等学校を初任に，現在に至る。研究面では，石川県高等学校理化教育研究大会における研究発表や北信越理科教育研究大会において「ヤングの実験の測定法の改良」についての発表実績がある。さらには，高等学校教育課程研究集会では「ヤングの実験における光の回折と干渉の理解～電子黒板（視聴覚機器）の活用～」について発表を行っている。指導面では，文部科学省研究開発校スーパーサイエンスハイスクール指定校にて課題研究の指導に当たった。さらに，石川県高等学校理化部会において，県理事や特別委員を務め，長年にわたって実験書検討委員として実験書の改訂に携わるなど，理科教育の振興に貢献している。

2 功労者表彰

羽咋市立羽咋中学校　　教頭　**西住 昭真**

志雄町立志雄中学校を初任に，羽咋市立羽咋中学校，金沢大学教育学部附属中学校，志雄町教育委員会派遣社会教育主事，石川県教育委員会中能登教育事務所指導主事，羽咋市立羽咋中学校，七尾市立七尾東部中学校指導教諭，同主幹教諭を経て現在に至る。指導面では，石川県理科教育研究大会において，自作教材を活用した授業実践を公開し，粒子領域における自作教材の利便性を提案した。また，所属校では，理科教育の核となる「問題解決的な学習」と思考・判断・表現力の関係性を明確にしながら研究を進めるなど，理科教育の推進に貢献している。

石川県立大聖寺高等学校　　校長　**鈴木 一恵**

石川県立小松瀬領養護学校を初任に，同加賀聖城高等学校昼間部，同加賀高等学校，同小松商業高等学校，同加賀聖城高等学校昼間部教頭，同加賀聖城高等学校教頭，同大聖寺高等学校教頭，小松市立高等学校校長を経て現在に至る。石川県高等学校教育研究会理化部会において，化学実験書検討委員として実験内容の改善について研究を行うとともに，理事を務めた。さらには石川県高等学校教育研究会地学部会会長，石川県高等学校教育研究会理化部会会長，石川県理科教育研究協議会副会長，日本理化学協会副会長，第87回日本理化学協会総会及び平成28年度全国理科教育研究大会石川大会運営委員長を務めるなど，理科教育の推進に貢献している。

3 学校表彰

金沢市立犀生中学校　　（校長 坪坂 義嗣）

当该校は，「学力と授業規律の向上」「主体的に観察実験に取り組む生徒の育成」を重点課題として，理科教育に取り組んでいる。平成26年度より金沢市の学校力向上研究支援事業「土曜授業」の重点指定校として土曜授業を実施し，理科の授業時間数を増やすことにより学力向上を図っている。また，理科室の環境を整備し，観察・実験器具を使いやすい配置にするなど工夫をしている。夏季休業中は理科研究のために理科室を開放して，研究の相談助言を行い，生徒の理科研究を奨励している。その結果，石川県児童生徒科学作品コンクールにおいて優秀賞（平成28年度），日本学生科学賞石川審査会優秀賞などを受賞している。

星稜高等学校　　（校長 干場 久男）

当该校の科学部と天文部は，生徒の自主性を重んじ，自らが興味を持ったテーマのもと積極的に実験や観察に取り組んでいる。科学部は，石川地区中学高校生徒化学研究発表会及びいしかわ高校生物のつどいにおいて，活動成果を発表している。また，天文部は，北信越地区自然科学部研究発表会で研究発表を行い，研究奨励賞を受賞している（平成26年，27年）。さらには全国高等学校総合文化祭自然科学部門において，第1回から6年連続で出場を果たしている。高校生による青少年のための科学の祭典への出展や児童会館等で実施する実験教室を通して，地域の子どものための科学教育にも貢献している。

4 学校助成

金沢市立富樫小学校　　（校長 山岸 郁生）

石川県立金沢錦丘中学校　　（校長 中田 一宏）

石川県立金沢錦丘高等学校　　（校長 藤田 耕造）

平成29年度に金沢市で開催する，第54回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として，小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

5 研究機関助成

石川県教育センター　　（所長 池廣 巖雄）

理数教育の充実に向け，理科教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し，科学教育の振興・発展に努めている。